

この地に生きた証明、未来へ。時空を超えた探究物語



重要有形民俗文化財 ばんどりコレクション 当館蔵

「庄内の昔・民俗」

創立70周年記念展覧会

探究 庄内

令和2年
12月19日(土)



令和3年
2月14日(日)

モノがたり

重要有形民俗文化財
「刺し子しぼん」当館蔵



小山崎遺跡出土 深鉢
遺佐町教育委員会蔵

青石余談(松森真保著) 個人蔵



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 Tel.0235-22-1199

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 水曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入館料 一般800円/高大生400円/小中生300円

主催 公益財団法人 致道博物館

共催 山形県・鶴岡市教育委員会

(公財)山形県生涯学習文化財団



創立 70 周年記念展覧会【庄内の考古・民俗】

庄内探究モノがたり

令和2年 12月19日(土) → 令和3年 2月14日(日)

サムライの時代が終わって幾年月、庄内からは、歴史学・考古学・博物学等さまざまな分野で活躍する学識者が登場しました。

明治23年(1890)には、松森鳳保や羽柴雄輔らを中心に庄内で「奥羽人類学会」が発足します。この学会は発展を遂げ、同じく庄内出身の犬塚又兵が発足した「古器物研究会」(福島)とともに、黎明期における東北の考古学研究を牽引してきました。

致道博物館では創立以来、先人たちの遺志を受け継ぎ、当地方における発掘調査の一翼を担い、考古学研究の向上に尽くしてまいりました。

また、高度経済成長期、生活様式は大きく様変わりし、農業、漁業、伝統産業も変革を遂げます。生活が豊かになる一方、役目を終えた民具の多くは失われることとなりました。当館では地域の歴史を後世に伝えるため、民俗資料の収集を進めてきました。現在収蔵する民俗資料の内の8件5,350点は、重要有形民俗文化財に指定されています。

本展では、近年の発掘調査で得た新知見を中心にした庄内における考古資料、そして日常と非日常(ハレとケ)の連続のなかに生み出された民俗資料の数々を紹介します。

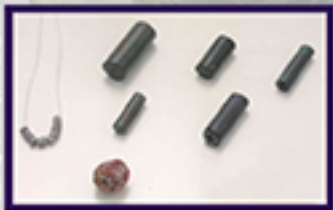
先史時代から現代へ、この地に生きた人々の息づかいが、時空を超えて何をモノがたるのでしょうか。



山形県指定有形文化財
「山形県一戸市出土
「山形県一戸市出土」当館蔵



山形県指定有形文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵



山形県指定有形文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵



山形県指定有形文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵



重要有形民俗文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵



重要有形民俗文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵



重要有形民俗文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵



重要有形民俗文化財
「山形県一戸市出土」当館蔵

《ギャラリートーク》 考古のモノがたり

令和3年1月23日(土)
14:00~15:00

《ギャラリートーク》 民俗のモノがたり

令和3年1月30日(土)
14:00~15:00



重要文化財
田代谷家住宅



国指定名勝
酒井氏庭園



旧庄内藩主
御邸跡



重要文化財
旧鶴岡警察署庁舎



重要文化財
旧田川郡役所



重要有形民俗文化財
収蔵庫



民具の蔵



美術展覧会場
(企画展会場)



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



1950年6月14日創立



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
<https://www.chido.jp/> E-mail:infochido@chido.jp

「致道(ちどう)」は、
庄内藩校致道館に
由来し、出典
は「論語」で「君子
子学んで以て
其の道を致す」
です。



Chido Museum Information